平成１９年度 物理学専攻常置委員会 議事録

日時：平成２００８年４月７日（月）１０時００分－１１時００分
場所：理学部１号館３３８号室

出席： 物理学教室：須藤（専攻主任）、宮下（副専攻主任）、
佐野、蓑輪
原子核 ：上坂
物性研 ：押川、松田
宇宙線研：川崎
宇宙研 ：満田
高エ研 ：齋藤（直）
総合文化：清水
素ｾﾝﾀｰ ：小林
以上１２名出席

欠席： 山崎（総合文化）

＜配布資料＞

１．平成 20 年度物理学専攻関係委員及び事務担当者表
２．平成 20 年度物理学専攻部局別教員一覧
３．平成 20 年度物理学専攻サブコース別教員一覧
４．常置委員会と専攻会議の日程（案）
５．平成 21 年度物理学専攻修士課程入試日程（案）
６．平成 21 年度入試出題およびレビュー委員（案）
７．平成 21 年度物理学専攻修士課程入試ガイダンス（案）
８．平成 20 年度「国費外国人留学生（研究留学生）の優先配置を行う特別プログラム」による外国人特別選考結果

＜議事＞

１．連絡事項

専攻主任より、配布資料１～４について説明と確認がなされた。
記載事項について間違い・変更等のあった場合は、委員会終了後、教務に連絡することになった。
次回からの常置委員会は、mail 回議で行う。

２．修士入試について

１）専攻主任より、日程の確認がされた。（資料５）

１日目　午前：数学、午後：物理
２日目　TOEFL-ITP による英語

２）専攻主任より、各部局から推薦された中から 22 名を出題およびレビュー委員として委嘱したい旨提案があり（資料６）、承認された。

数学　４名（責任者を含む）
物理　13 名（責任者を含む）
博士入試・外国人特別選考　４名（責任者を含む）

３．専攻主任より、６月８日（日）小柴ホールにおいて物理学専攻ガイダンスを開催する旨の提案があった。（資料８）。
当日、出願書類の配布をおこないたい。
サブコースシステムの徹底が出来るように、講師４名で講演を行い、懇談の時間を増やす

４．部局ガイダンスについて

各部局が本郷キャンパスにて行うガイダンスの日程の調整を行った。

５．留学生委員会から提案のあった、平成 20 年度「国費外国人留学生（研究留学生）の優先配置を行う特別プログラム」による外国人特別選考候補者５名について（資料９）、審議の上承認した。
専攻主任より、これは博士課程のみの毎年 5 名の特別枠であるので、各国の GRE 実施時期に注意しながら十分余裕をもって早めに海外の学生とコンタクトを取って欲しい旨の要請があった。

６．教員の大学院担当申請について以下の通り、現状のルールを再確認した。この件については従来より混乱している場合もあるので、次回専攻会議で議論と確認を行う予定である。新たに着任した教官を大学院担当として提案する手順は以下の通りである。

大学院担当の申請についての物理学専攻内規（平成１４年９月専攻会議決定）

(1) 新たに物理学専攻の大学院担当にふさわしいと思われる先生がおられる場合は、物理学専攻の メンバー（たとえば常置委員やその部局の先生）が、提案書(400 字程度)と添付書類（履歴書、業績リスト、主要 論文）を専攻主任に提出する。提案書は、書式自由だが(a)提案趣旨、(b)ふさわしいと思われるサブコース を明示する。

(2) この提案を受けて、専攻主任は常置委員会にかけ、提案のあったサブコースの主任にも予め サブコース全体で検討した上での審議への参加を求める（会合が望ましいが、それが無理な場合は email 審議 も可とする、添付書類は全員に配る)。 そこで理学系担当の適否も含めて審議し、専攻主任に報告する。常置委員会およびサブコース主任の結論が「諾」であれば、専攻主任は専攻会議に報告して物理学専攻としての判断を求める。専攻会議の間隔が開いている時期に急ぐ事情がある場合は常置委員会の了解 を得て、専攻主任が理学系委員会に提出する。

(3) 段階(2)で「諾」が得られない場合はさらに常置委員会で検討する。

実際の運用においては、大学院学生をとるために上記のプロセスをスキップしてほしい、という要望がだされることが多いがそれは不可能である。理学系委員会は月に一回しか開催されないので、その一週間前には上記のプロセスが完了している必要があることを十分理解した上で、早めに手続きを開始してほしい。修士課程入学試験のための大学院理学系研究科指導教員専攻分野一覧に名前を掲載したい場合には、4 月の理学系委員会で承認される必要がある。一方、6 月の理学系委員会で承認されれば、物理専攻ホームページへの名前の掲載は可能であるので、入学願書提出には十分間にあう。

７．会議中、修士学生募集要項に添付する「専攻分野一覧」を、サブコースごとに回覧で確認を行ない、修正のある場合は、会議終了後教務に連絡をすることにした。